



こんにちは！久留米市御井町の house plus+でございます！だんだんと春めいてまいりました。4月ということで、新年度のスタートです。昨年の今頃は新元号「令和」の発表に沸いていたのですが、今年はオリンピックヤーということで、スポーツ界が盛り上がりを見せていますね。普段から、何かのスポーツに打ち込んでいらっしゃる方や、ご家族とスポーツ観戦をされている方は特に楽しみが多くなりますね！今冬は、COVID（コロナウイルス）の影響で様々なイベントにも制限がかかるなど色んな出来事がありましたが無事終息することを願っております。安全第一・健康第一で乗り切っていきましょう！

光栄建設の日常の小さな幸せ♡コラム

桜と梅と・・・蘭。

「桜切るバカ、梅切らぬバカ」という言葉がありますが、桜や梅を、お庭に植樹されていらっしゃる方も多いと思います。日本人ならば、もれなく好きな花であると思いますし、情緒豊かな枝ぶり、葉も、花も、実も、それぞれに美しく、季節ごとに私たちの心を和ませてくれます。

「桜切るバカ」とは、桜の枝を折ってしましますと、そこから腐り、木全体がダメになってしまうと言われております。花見などで美しい桜を見て、ちょっとお家に持って帰って、部屋の花瓶や桶などに飾りたいと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、けっして枝を折らないようにしたいものです。逆に「梅切らぬバカ」とは、桜とは違い、梅は枝ぶりを見ながら不要な枝を切って樹形を整えてやらなければ、いずれ花や実をつけることが難しくなるとされています。枝は切るもの、いや、切ってはいけないもの、と言う風にどちらか一方ではないという事ですね。このように、木によって対応を変えなければ正しく育てていくことができない事を言っているのであり、転じて、人によって考え方や感じ方が異なるのだから、同じ言葉や対応でも、相手によって全く違う結果が生まれることになるという教訓です。それが良い方向ばかりでなく、固定観念にとらわれていると悪い結果を招くこともあるので、柔軟な頭と心を持っていたいものですね。桜や梅はそんな風ですが、当社には、移転オープンの際に頂いた「蘭の花鉢」がいくつか置いてあります。いつも、花が終わると、はさみを入れて次の花を待つのですが、小さなピンクの蘭の枝に、はさみを入れ過ぎまして、ここ2年程、お花が咲くことはありませんでした。まさに「蘭切るバカ」をしてしまったわけです。捨てるのもなんだか忍びなく、咲かない株にちょこちょこお水をあげていたのですが、今年なんと！枝が伸び、可愛いピンクの花を咲かせてくれました！（涙）思わず「ありがとう」と花に声をかけたりしてマス(#. #) 教訓は・・・「失敗してもやり直せる」ってことですかね？！



イベント延期のお知らせ

4/12(日)「アルテレゴ・キュイジーヌ」の齊藤亜希子先生をお迎えし、「アイシングクッキー教室」を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、やむなく、イベントを中止致します。現在既にお申込みを頂いていましたお客様には、個別にご連絡致しますが、事態が収束して参りましたら、改めて日程調整をし、是非開催したいと考えております。今後の予定はDMやホームページ上でお知らせして参ります。来場される方々の健康と安全を最優先に考えた措置ですので、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。